

# 雷の子

カトリック町田教会  
町田市中町3-2-1  
電話 042-722-4504  
FAX 042-722-4512

## いかずちの子

<http://www.machida-catholic.jp/>



天使は、彼女のところに来て言った。  
「おめでとう、恵まれた方。主があなたと共におられる」……  
「……神にできないことは何一つない」マリアは言った。「わたしは主のはしためです。お言葉どおり、この身に成りますように」。そこで天使は去って行った。 ルカ1・28-38

## 冬の植物たち

主任司祭 小池 亮太

今年の冬は特別厳しいように感じますが、この寒さの中でも葉を青々と茂らせて、花を咲かせている植物があります。しかし、多くの植物は冬になると葉を落として枝だけになったり、地上に出ている葉の部分が茶色く枯れてしまっています。

植物の中の「一年草」と呼ばれるものは、種から芽が出ると、茎と葉を伸ばし、花を

咲かせ、実を結んで次の世代に命を繋ぐと枯れて、その命を終わらせます。多年草と呼ばれる植物は、一年草のように成長し、地上に出ている部分も枯れます。しかし、根は生き続け、季節が来れば再び葉を伸ばし、花を咲かせ、実を付けます。また、木と呼ばれる植物は、枝から葉を落とすと枯れたように見えますが、その幹の中に新しい年

輪を刻み、やがて柔らかい新芽をその枝から出します。

多年草が葉を枯らし、木が葉を落として休眠する季節は、再び活動を始める時のために手入れをする季節でもあります。多年草の枯れた葉を刈り取り、根元の土をほぐして肥料を与え、木は姿を良くするために刈り込んだり、隣の植物とうまく共生させるために枝を切り落としたりします。

しかし、多年草の茶色く枯れた葉を刈り取った切り口に鮮やかな緑色の部分を見つけるとハッとさせられます。また、木の枝を切り落とした後の瑞々しい切り口にドキッとさせられます。そして、「可哀想なことをしてしまつた」と、申し訳ない気持ちになります。植物のためにそうした方がよいと分かっているのに、何故このような気持ちになるのでしょうか……。それは、役割を終えたものの中に、次に繋がる大切なものが隠されていることを発見し、取り除かれたものにも、生きるために必要なものが行き渡っていたことに気付くからでしょう。

このような気持ちになるのは、植物の手入れをしている時だけではありません。大切な人、のために、「より良くなるために取り除いた方がよい」と思ってしまったことや言っ

た言葉が、その人を傷つけてしまう時があります。その時、「取り除いた方がよい」と判断した部分の中にも大切なものがあり、様々な思いが通っていることに気がつきます。それは、「取り除いた方がよいに決まっている」と分かっている自分の一部を簡単に捨てることができず、何とかして手放した時には大きな痛みを伴うことから分かります。

また、自然の一部が人間によって破壊された時、自然は繊細で様々なものが複雑に関わり合いながら成り立っていること、破壊されて失われてしまった部分は掛け替えのないものだったことを知ります。

そして、世界で起きる様々な出来事の積み重ねである歴史も、間違えた方向に進んでいたことが明らかにな



運営委員会議長

## 運営委員としての二年間

立木 欣吾

った時、歴史を作る小さな出来事の一つひとつの中にある神の思いを受け取れていなかったことに気が付きます。しかし、枝を切り落とされたも、植物は時が来れば新しい葉を出し、花を咲かせ、実を結びます。辛く悲しい思いをして、受けた痛みを忘れることができなくても、人は時が来れば前を向いて歩み出します。破壊されたとしても、自然は気の遠くなるような時間をかけて少しずつ再生してゆきます。そして、歴史が間違えた方向に進んでも、神はこれから起こる出来事によって、救いの計画を確実に進めてゆく……冷たく乾いた風に吹かれながら、やがて来る春を思い、そのようなことを考えながら、刈り取った葉や切った枝を片付けたのでした。

会今年の振り返りは、総会資料をお読み頂ければ幸いです。「雷の子」では、運営委員として務めた二年間について、雑感を述べさせていただきます。

二年前の春、自分が6の1か2かどちらのブロックかもわからないまま、運営委員を引き受けました。役に立てる

今春の信者総会で運営委員を退任いたします。この間の、皆様からのお力添えに心から感謝申し上げます。運営委員

かどうかはわからないけれど、運営委員であることが教会とのつながりを深めてくれるのではないかと考えたのが引き受けたきっかけです。

最初の一年は、運営委員会でひたすらメモを取り、書記の方が作った議事録の校正だけをしていました。他の運営委員の方の話をわかったような顔をして、実はチンプンカンプン。

それでも二年目は議長になってしまいました。お引き受けすることに迷いはありませんが、これも神様のお導き、人生の中には何かを犠牲にしてもやらなければならぬ時があるのだと決断しました。

議長になると、わかっていないフリだけでは済まず、問い合わせへの対応や異なる意見の調整に気を揉みました。

この一年間、神父様のご助言はもちろんのこと、運営委員のメンバーや退任した運営委員、信徒の方からのご支援がなければとても乗り切ることが出来ませんでした。この一年で得たものは、何よりも皆さまからの限りない優しさでした。

私は、運営委員会の役割はとどのつまり、教会が教会に集う人たちに、教会をより心地良い安らぎを与えるような場所にすることだろうと考え

ています。様々な考え方や主張があり、なかなか妥協点が見出せないような事柄もありますが、神父様や皆様と相談しながら、より良い環境を整えるために方向性を示していくのが運営委員会の務めだと思っています。

総会が終わったあつあつが抜けてしまいかも知れません。少し休んだら、自分で出来る範囲のことをお手伝いするつもりです。家庭や健康面での事情で、その時々によって出来ることは違うかもしれませんがそれはバザーに古着を提供することかもしれない、御ミサの後にご飯を食べることだけかもしれない、あるいはまた運営委員になることも出来ない。信徒の数だけ教会運営への参加の仕方があって、それをお互いに認め合うことそれがより開かれた町田教会を作りあげていくのだと思います。

ウェルカム・テーブル主催  
日帰り黙想会に参加して

中西 格

十二月一日は雨で前日より十二度も気温が低く、駅からタクシード小池神父様指導の黙想会のある「汚れなきマリヤ会町田修道院」に向かう。参加者は総勢三七人。十時十五分に第一回講話。

# イソポ 100円ランチの会

第1・第3・第5日曜の第2ミサ後  
100円のランチを販売し  
建設営繕積立金に献金する  
グループをルポ(地永)

神様から沢山いただいて  
いるから少しでもお役に  
立てればうれしい!!

材料費は1人1回500円  
メニューは 思いのまま  
いろいろ

毎回登場! 100円ランチ

●ポテサラダチン  
●ハンバーグ  
●牛肉とごぼうの  
ませごはん

紅しょうが  
ホウレン草  
卵  
ごぼう  
しょうゆ  
しょうが  
しょうゆ  
しょうが

100円ランチ

みなさまに  
支えられて

作る人 差し入れ 売る人 並べ方  
声かけ 割り箸 持ち寄り 買う人

2011年7月 厨房工事のため  
カレーうどんに代わり 販売!(全日日曜)

テーマは「祈り」。カトリックの祈りには口禱と念禱があり、念禱は 黙想と 観想に分かれる。黙想は知性を働かせ神との対話をつうじて神の望みが何であるかの答えを受け取り、祈りと現実がつながり実行する力をつけるもの。これに対し、観想は神を感じることで神の中に入り込み、これにより「こだわり」から解放され全てを神に委ねることが出来る等々の判りやすい解説に聞き入った。

周りが静かな修道院でもあり、難聴の自分だが、集音器の調子もよく全部聞き取ることができた。そのあと一時間余りの黙想のあと昼食。

午後からは「救しの秘跡について」と題する第二講話。ミサの中の「回心の祈り」に「思い、ことば、行ない、怠りによって……」と列挙されているが、この順番は罪の重い順になっていると言われ、では殺すよりも殺したいと思う方が罪が深いのですか？ という質問に対し、「思い」がなければ実行にいたらないつまり行為の原点であるから、との解説にあらためて納得する。終始原点に立ち返った簡潔で判りやすいお話にすっかり引きこまれ、そのあと二度目の黙想に入る。与えられた時間が一時間半と私個人

にはやや長かったが、普段の不勉強を少しでも取り返そうと持参した聖書をあちこち読んだので、真新しい発見をするなど、自分にとり今回の黙想会も収穫は大きかった。三時からミサ、その後三十ベロニカ苑開設25年

1986年10月1日に開設したベロニカ苑は、昨年25周年を迎えました。社会福祉法人になってからは10年になります。

草創期のベロニカ苑は、和紙の型染はがきを作っていました。12月の翼が降る寒い日曜日、旧聖堂の入り口にテーブルを並べて型染の年賀はがきを販売していました。のちには町田市の名産品にもなつて生産が追いつかなくなるのですが、その頃は販売場所がなく、教会の皆様に頼る日々でした。

凍えながら販売している私達のそばに、主任神父様が石油ストーブを持ってきて下さり、温かさが体中に広がりました。結局、年賀はがきは沢山売れ残り、マッチ売りの少女のような気持ちで帰りました。この売上が皆さんのお給料になるのですから。

ところが夕方、はがきを買われた信者さんの隣家の方から

分の茶話会。時間の制約で、参加者の皆さまと充分知りあう時間がなかったのは残念だったが、本来の黙想の主旨から考えて、静かに神様と向かい合う時間に恵まれたことを感謝している。四時解散。

皆様の見守りの中で  
安達 利恵子

世間の景気の良さとは対照的に、厳しい運営が続ぎ、裏の山で拾った蕨や松ぼっくり、

電話があり、とても気に入ったので200枚も注文して下さったのです。これでお正月が越せるとみんなで大喜びしました。

牛乳パック、綺麗な包装紙などで小物を作って販売したり、降誕祭のモールや飾りも全部手作りしたり、お金を使わずみんなで楽しく工夫したものです。

ベロニカ苑の会報は、謄写版製作から神父様の中古の印刷機をお借りするようになりましたが、性能と「腕」の悪さでしばしば止まったり詰まったり。土曜学校のリーダー達によく直して頂きました。ご復活祝賀会やバザーではよく豚汁を請け負い、みんなでワイワイ準備し、カレーに次ぐ得意料理となりました。教会に頼ってばかりでした

あなたは殺してはならない。(申命記5章17)

十戒の構成は、前半部の五条が神に対する掟、後半部の五条が隣人に対する掟であることを前回お話ししました。今回から後半部に入りますが、その前に注目していただきたい点があります。それは次に引用する結びの句でした。  
「そうすればあなたは、あなたの神、主が与えられる土地に長く生き、幸いを得る」(16節)と。  
あなたの日々を長くする 一連の結びとして豊かな落ち着きを感じられます。

# ワンポイント聖書

## 十戒・その六



(185)

前島 誠

あなたは殺してはならない。(申命記5章17)

十戒は、後半部の第一条に殺人を取り上げました。他人の生命を奪うこと、これが最も重い罪に当たるといふ判定は、ほとんどの民族が共有する判断と言えましょう。  
「決してするな、してはならない(動詞の未来形とともに強い否定命令を表す)決してするな」  
「テイルツァふ(あなたは)殺す。」

普通の殺人について使用される。(戦争や死刑には適用されない)



成人式・おめでとう  
二〇二三年一月八日

が、「ベロニカ苑ともの会」という後援会ができ、バブルに沸いた世間も少しずつ福祉に思いを寄せるようになり、法律も整い始め、ベロニカ苑も自立へと向かいました。

2002年1月31日、ようやく社会福祉法人となり、職員のお給料が安定し、温かい給食も提供できるようになりました。災害を想定した訓練に消防署の方が来て下さるようになり、何よりトイレに行列ができず、床が抜けることもなくなりました。

あれから25年、町田教会の皆様が見守って下さったお陰で、今、地の星があるのです。ありがとうございます。そして、どうぞこれからも宜しくお願ひ申し上げます。



昨年12月7日、記念式典が市民ホールでおこなわれた。その折のミュージカルの一場面。

土曜学校

クリスマスお泊まり会

小5 プシホゼンえりさ

十二月にクリスマスお泊まり会がありました。わたしはプレゼント交換が、いちばんのしかつたです。わたしももらったのは、ステイッチの時計ときれいなピースのついた、爪楊枝です。とてもかわいかったです。

あと、ケーキ作りが楽しかったです。くだものを切って盛り付けるのが楽しかったです。

それから、ねるときに、友だちとしゃべっていて、夜の十二時まで、おきていました。六時ぐらいに起きて、七時半のミサに出て、朝ごはんを食べて、荷物のじゅんぴをして、いえに帰ってプレゼントをあけて、時計を部屋に飾りました。

三月に、また、卒業おわかれお泊まり会があるので、それにも参加したいです。

リーダー 島田 和人

十二月十日〜十一日の一泊二日で、教会にてクリスマスお泊まり会を行いました。

最初はツリーを出して飾り付けです。飾りはツリーにしつかり引つ掛けないと、飾っているそばから取れてツリー

の根元に落ちてしまいます。結構ぼろぼろ取れていました。仕上げにモールと電球を飾り付けて出来上がりです。電球を付けるとクリスマス会らしい雰囲気になります。

次にケーキ作りです。皆で協力して二個のケーキを作りました。ケーキ作りはスポンジにクリームを塗って果物を飾り付けます。今年は例年に比べきれいにバランス良く飾り付けができ、見た目もおいしいケーキが完成しました。

シャンメリーと共にすぐに食べます。さすがに、ケーキを食べている間は静かです。

お楽しみみのプレゼント交換のあとはゲーム。人間になりたい」というじゃんけんゲームですが、私はじゃんけんが弱いので人間までたどりつけません。

夕方、ミサにあずかり夕食



のシチューを食べ就寝ですが、この日は皆既月食の夜だったので、寝る前に少しだけ前庭で観察しました。

翌朝は、朝食のあと掃除をして解散しました。掃除は途中から遊びになつてきている気もしましたが……。

ツリーやケーキ、プレゼント交換と、クリスマス会らしき雰囲気で行われ、どの子も楽しんでくれたようです。

2011年度 一粒会 献金実績表 (円)

1月	109,100	7月	65,800
2月	104,630	8月	66,160
3月	48,200	9月	92,900
4月	160,690	10月	83,120
5月	76,500	11月	56,000
6月	53,240	12月	186,730
		合計	1,103,070

犠牲献金

中高生会

1月8日 9,985円

(ベロニカ苑へ)

2月5日 13,978円

(ベロニカ苑へ)

「雷の子」次号編集会議予定

4月1日(日)09時30分

於会議室

信者動静

2011年12月～2012年2月

個人情報のため、削除しています。